



2022年6月23日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(東証スタンダード コード：4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

2022年度愛知県「自動運転実証実験」に参画いたします

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：加藤 淳）は、様々な交通課題の解決に寄与することが期待されている自動運転サービスの実現を目指し、国の規制緩和の動きに連動した最先端の遠隔型自動運転システムを含む実証実験を、全国に先駆けて積み重ねております。

本年度は、実運行において再現可能なビジネスモデルの構築を目指すことを目的とし、株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊 基之）を幹事会社とする共同体で愛知県より委託を受け事業実施をいたします。

詳細につきましては別紙をご覧ください。

以上

2022年度愛知県「自動運転実証実験」に参画いたします

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、様々な交通課題の解決に寄与することが期待されている自動運転サービスの実現を目指し、国の規制緩和の動きに連動した最先端の遠隔型自動運転システムを含む実証実験を、全国に先駆けて積み重ねております。

本年度は、実運行において再現可能なビジネスモデルの構築を目指すことを目的とし、株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊 基之）を幹事会社とする共同体で愛知県より委託を受け事業実施をいたします。

中部国際空港島及びその周辺地域では、イオンモール常滑～常滑駅間にて自動運転中型バスを利用した町内自動走行実証を実施するほか、モリコロパーク（愛・地球博記念公園）では、ジブリパーク開業後の園内バスへの自動運転活用を想定した、閉鎖空間における園内目的地への移動手段の実現を目指します。

1 実証実験の概要

モデル類型※1	ショーケース※2	集客施設
実証地域	常滑市	長久手市
	中部国際空港・りんくう町・常滑市内	モリコロパーク（愛・地球博記念公園）
道路種別	公道	閉鎖空間
実施ルート（予定）	・イオンモール常滑～りんくう町内～常滑駅（公道）	・西エントランス広場・児童総合センター付近（園内バスルートの一部）
実証テーマ	・ビッグデータを活用した安心・安全で利便性の高い運行	・園内バスルートでの自動運転バスによる運行
特徴	・ビッグデータ等を活用した移動需要に合わせた最適な配車 ・5GやAI映像解析技術※3等を活用した危険リスクの検出	・センサー等を活用したルート上の歩行者検知及び歩行者に対する音声による車両接近情報の提供 ・樹木・起伏等があるルートでの自動運転バスによる走行

○最終的な実証実験ルートや実施時期は、改めて発表

○今後の状況により、実証実験の内容について変更の可能性あり

2 事業実施体制

(1) ショーケース

株式会社NTTドコモを幹事会社とする企業グループで事業実施

参加予定企業名等	主な役割
(株) NTT ドコモ	事業統括、通信環境構築、5Gを活用したソリューションの提供、車両調達、ビッグデータの提供
アイサンテクノロジー (株)	3Dマップ ^{※4} の作製、走行調律作業の実施
埼玉工業大学	自動運転バス車両の提供
(株) ティアフォー	自動運転OS Autoware ^{※5} の運用支援
岡谷鋼機 (株)	社会実装に向けたアドバイス
損害保険ジャパン (株)	自動運転リスクアセスメント
名鉄バス (株)	遠隔管制者、車内保安員、交通事業者としての運行支援
(株) 東海理化	遠隔監視の映像を統合するシステムの提供

下線は今年度新規参画企業

(2) 集客施設

株式会社 NTT ドコモを幹事会社とする企業グループで事業実施

参加予定企業名等	主な役割
(株) NTT ドコモ	事業統括、通信環境構築、5Gを活用したソリューションの提供、車両調達等
アイサンテクノロジー (株)	3Dマップの作成、走行調律作業の実施
埼玉工業大学	自動運転バス車両の提供
(株) ティアフォー	自動運転OS Autoware の運用支援
岡谷鋼機 (株)	社会実装に向けたアドバイス
損害保険ジャパン (株)	自動運転リスクアセスメント
名鉄バス (株)	遠隔管制者、車内保安員、交通事業者としての運行支援
(株) 東海理化	遠隔監視の映像を統合するシステムの提供

下線は今年度新規参画企業

今回の実証実験における新たな試みとして、株式会社東海理化(本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美)が持つ、自動運転の遠隔監視に必要な不可欠なカメラや映像の統合技術を用いて、中部国際空港島および、その周辺地域、並びに愛・地球博記念公園を走行します。実運用において再現可能なビジネスモデルの構築を目指します。

3 実証車両

地域・ルート		車両	イメージ	説明
中部国際空港 常滑市街地	りんくう町内 イオンモール常滑	大型バス車両 (1台)		<ul style="list-style-type: none"> 大型バス「レインボー（日野自動車）」をベースとした車両 自動運転 OS Autoware により走行
モリコロパーク		大型バス車両 (1台)		<ul style="list-style-type: none"> 大型バス「レインボー（日野自動車）」をベースとした車両 自動運転 OS Autoware により走行

4 本件に関するお問い合わせ先

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
アイサンテクノロジー株式会社 モビリティ事業本部
TEL 052-950-7500

用語説明・補足

※1	モデル類型	社会実装が見込まれる地域を類型化し、モデルとして県で設定したもの。
※2	ショーケース	最新技術を一般の方等に対して紹介、説明する機会とするもの。
※3	AI映像解析技術	AIを活用して監視員のモニター映像を解析し、危険箇所（人や他車）の検出・映像の強調表示等を行う技術。遠隔監視の補助として利用する。
※4	3Dマップ	自動運転車両の走行経路の設定に用いられる3Dの地図。
※5	Autoware	自動運転システム用オープンソースソフトウェア。 The Autoware Foundation の登録商標。